

Panasonic

技術基準適合証明品

コンパンダ方式
仕込み用2ピース形 ワイヤレス送信機
品番 WX-TB830

取扱説明書

保証書別添付

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと、大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

このたびは、ラムサコンパンダ方式 仕込み用2ピース形 ワイヤレス送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。



上手に使って上手に節電

もくじ

安全上のご注意	3
特長	5
使用上のお願い	6
上手な使いかた	7
各部の名前	8
乾電池の入れかた	9
音声入力コネクタの接続	10
マイクロホンクリップの取り付けかた	10
ウインドスクリーンの取り付けかた	10
周波数設定のしかた	11
送信出力の設定のしかた	15
使いかた	16
定格・付属品	18
周波数特性	19
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

禁止

●修理は販売店に依頼してください。

電池は充電・分解・ショートしない



電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因となります。

禁止

注意

電池は極性（プラスとマイナス）を正しく入れる



間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

違う種類の電池や、新旧の電池は混ぜて使わない



電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因となります。

禁止

ニッカド電池は使わない



万一、内部が破損していた場合、発火の原因となります。

特 長

本機はダイバシティ／コンパンダ方式ワイヤレス受信機と組み合わせて使用する音声収音用の2ピース仕込み型送信機です。

- RAMSA 800 MHz帯B型ワイヤレス受信機が使用できます。
- PLL方式の採用により、B帯30波の周波数の選択ができます。
- 小型ヘリカルアンテナの採用と、マイクコネクタ部が邪魔にならない形状により、仕込みやすくなっています。
- 送信出力切換スイッチにより、10 mWと5 mWの切換ができます。
- デジタルスイッチの採用により、グループとチャンネルを即時に設定することができます。
- コンパンダ方式の採用により、伝送系のダイナミックレンジが向上します。
- 電源表示LEDにより、乾電池の交換時期を表示します。
- 電源は、単三乾電池を使用しています。
- 感度調節ボリュームと音声入力レベル表示器により、入力レベルの調整が容易にできます。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

■違法改造しないで

- 本機を改造することは法律で禁じられています。
- 本機内部にある各電気回路は、工場で各種の精密な測定器を用いて厳密に調整されておりますので、ねじをゆるめたり、改造したりしないでください。

■技術基準適合証明ラベルについて

- 本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。みだりに剥がしたり、損傷のないようご使用願います。

■使用上のお願い

- 感度調節ボリュームを操作する場合は、付属の樹脂製ドライバーをご使用ください。金属製ドライバーで操作すると操作中にノイズが発生します。
- パワーアンプ、ビデオモニタ、測定器などの発熱の多い機器の上や、夏の締めきった車の中に放置しないでください。保存はなるべく乾燥したところで行ってください。
- 高精度の調整がしてありますので、強い衝撃を受けたり、床などに落としますと特性が変化することがあります。取り扱いには充分ご注意ください。本機に衝撃などが加わると受信機より衝撃音が発生しますので、衝撃を加えないようにしてください。
- 本機は、周囲温度0℃～+40℃の範囲でご使用ください。10℃以下になりますと、使用電池の寿命は短くなりますので、動作時間などにご注意ください。

■お手入れについて

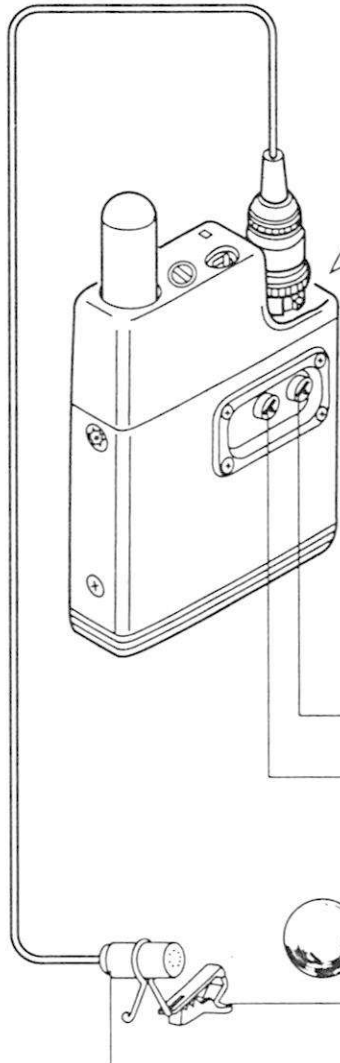
- 電源スイッチを切ってから行ってください。
- ケース外部の汚れは乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、石けん水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用したり、殺虫剤をかけたりしますとケースが変形、変色することがありますから、絶対に使用しないでください。

上手な使いかた

- 本ワイヤレスシステムは、回転機、変圧器、自動車のイグニッション雑音の影響を受けにくい場所を選んで使用してください。
- 周囲に電波が反射するような構造物のないところでは、受信機または受信アンテナを高いところに設置することにより、送信機からの電波を受けやすくなります。
- 送信機と受信機のあいだに、電波を吸収するコンクリートや大勢の人が入りますと、受信レベルが低下し、到達距離が短くなります。
- 送信機同士の距離は50 cm以上離し、送信機と受信機の距離は2 m以上離してください。周波数の干渉により混信を起こすことがあります。
- 本機のアンテナを覆ってしまうと、アンテナの効率が低下しますので到達距離が短くなります。
- 受信機と送信機は同じバンド同士を組み合わせてください。
- 多チャンネル同時運用の際は、送信していない空チャンネル（送信機をOFFにしたチャンネル）の受信機はOFFにしてください。
- 電源ON/OFF時にはクリック音防止のため、受信機に接続する機器のボリュームをしばってください。（アンプ、ミキサーなど）

各部の名前

■本体



感度調節ボリューム
〔LEVEL〕

電源表示〔BATT〕

・電源表示が赤色になりましたら、乾電池を交換してください。

音声入力レベル表示
〔PEAK〕

・マイクロホンの入力レベルが過大なとき点灯します。

・ときどき点灯するくらいを目安に感度調節つまみで調節します。

音声入力コネクタ〔IN〕

電源スイッチ〔POWER〕

ヘリカルアンテナ

チャンネル設定スイッチ〔CH〕(11ページ参照)

グループ設定スイッチ〔G〕



金属製ウインドスクリーン(付属品)

ウレタン製ウインドスクリーン(付属品)



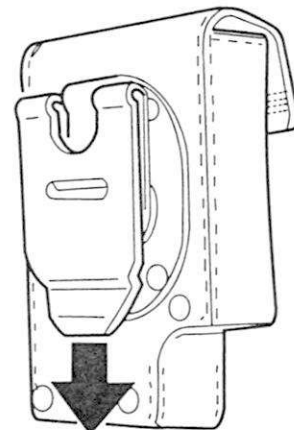
マイクロホンクリップ(付属品：たて型、横型)

付属小型マイクロホン

■外部マイク用変換ケーブル
(付属品)



■ベルトケース(付属品)



乾電池の入れかた

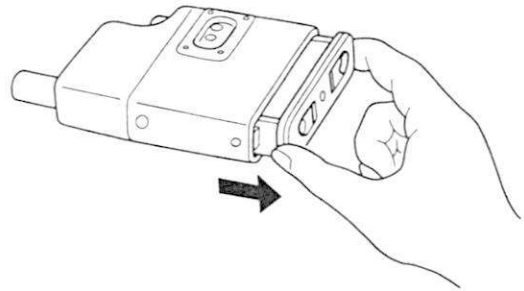
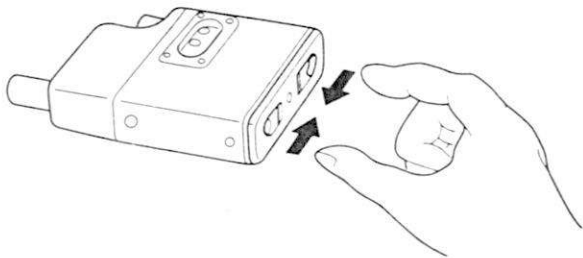
お願い

- 「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電池の交換は電源スイッチを必ずOFFにしてから行ってください。故障の原因となります。
- 電池の電極や電池ケースの端子は汚れた手で触れないでください。接触不良や雑音の原因となります。汚れたときは乾いたやわらかい布などでよく磨いてください。
- 強い衝撃などを加えた場合、電源表示（バッテリーアラーム）が赤色になる場合があります。その場合は電池を一度外し、再装着することにより正常表示（緑色）に復帰します。

電池はLR6 (G) アルカリ電池2個をお使いください。

1 電池ホルダーを外す。

底面のつまみ（両方）を内側にスライドさせると、電池ホルダーが押し出されます。そのまま引き抜いてください。



2 電池を入れる。

電池のマイナス端子を電池ホルダーのスプリングに押しつけ、プラス端子が完全に入るまで押し込んでください。

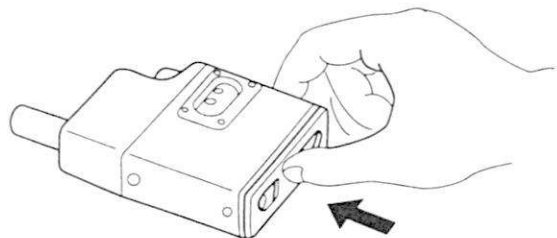
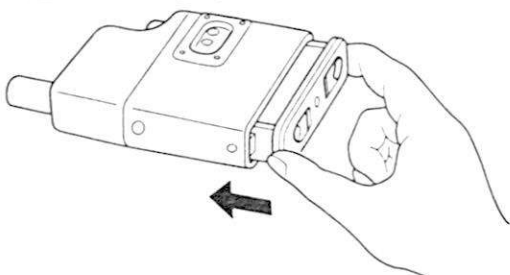
● 電池の外しかた

電池のプラス端子側を指でひっかけながら、外します。



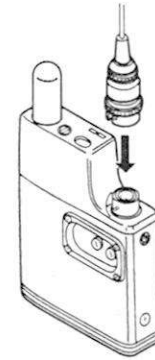
3 電池ホルダーを取り付ける。

電池ホルダーを“カチッ”と音がして完全にロックするまで、しっかり押し込みます。（方向性はありません。）



音声入力コネクタの接続

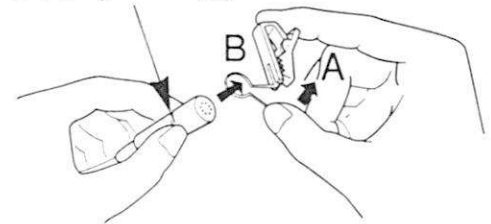
付属の専用小型マイクロホンあるいは、付属の外部マイク用変換ケーブルによる一般のマイクロホンが利用できます。音声入力コネクタを押しながら右に回してロックしてください。
※音声入力コネクタの保護のため、できるだけ外さないで収納してください。



マイクロホンクリップの取り付けかた

付属小型マイクロホン用のネクタイピン型マイククリップは、たて型と横型の2種類がありますので、用途に合わせてご使用ください。クリップの取り付けはスプリング部分をつまみ、スプリング内径を広げてマイクヘッドのストッパー溝に合わせて取り付けてください。

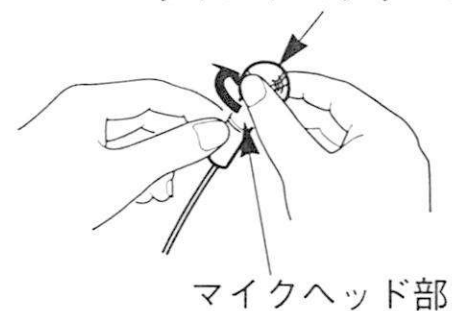
ストッパー溝



ウインドスクリーンの取り付けかた

本機を屋外、または風の多いところでご使用になる時は必ずウインドスクリーンを取り付けてご使用ください。ウインドスクリーンの取り付けは、ウインドスクリーンの根元（樹脂部）を持って時計方向に回しながら静かにマイクヘッドに挿入してください。
外す時も同様に、時計方向に回しながら静かに抜いてください。

ウインドスクリーン

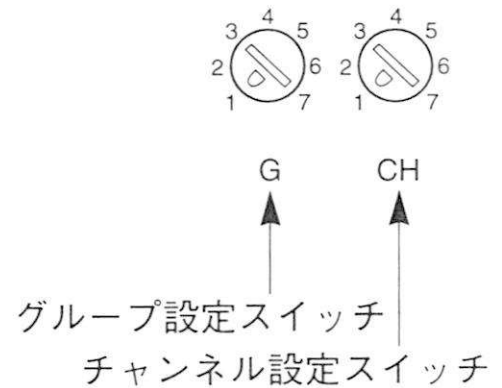


周波数設定のしかた

- 受信機と送信機は、同じバンド同士を組み合わせてください。
- 受信機と送信機は、同じ周波数にてご使用ください。
- 同時に使用する送信機は、全て同じグループにし、全て違うチャンネルにしてください。
- 全ての周波数表において、周波数表示のないところにグループ・チャンネルを設定しても送信できません。

■周波数設定のしかた

- ① グループ設定スイッチの△を受信機のグループと同じ数字に合わせます。
- ② チャンネル設定スイッチの△を受信機のチャンネルと同じ数字に合わせます。
(付属の小型ドライバーをお使いください)
グループ設定スイッチ、チャンネル設定スイッチは左へ回し切ると、1の位置で止まります。



■グループについて

- ① 同一場所で、複数の送信機を同時に使用する場合
 - 1つのグループに統一して使います。
 - グループ1～4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大6チャンネルまで使えます。
 - グループ5は5チャンネル、グループ6は1チャンネル使えます。
- ② 隣合った125 kHz間隔の周波数は、お互いに影響することがありますので、100 m以内では使用しないでください。

周波数設定のしかた

③ 次の条件下で、十分に注意して使用したときは、7波の組み合わせも可能となります。

送信機出力	送信機間の距離	受信機と送信機の距離
5 mW	0.5 m以上離す	5 m以上離す
10 mW	1.0 m以上離す	10 m以上離す

周波数 (MHz)

チャンネル グループ	1	2	3	4	5	6	7
7	806.125	806.375	806.875	807.500	808.500	809.375	809.750
※	B11	B12	B32	B42	B25	B45	B46

※ 欄のグループ・チャンネルに設定しても同じ周波数を送信できます。

(例 B72 = B12)

■周波数表 (MHz)

h

グループ \ チャンネル	1	2	3	4	5	6
1	806.125	806.375	807.125	807.750	809.000	809.500
2	806.250	806.500	807.000	807.875	808.500	808.875
3	806.625	806.875	807.375	808.250	808.625	809.250
4	806.750	807.500	808.000	809.125	809.375	809.750
5	807.625	808.125	808.375	808.750	809.625	
6	807.250					

周波数設定のしかた

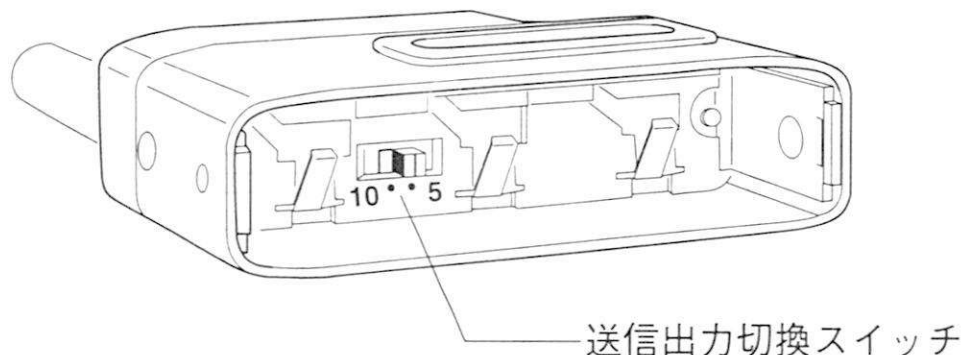
■周波数表

周波数 (MHz)	グループ・チャンネル番号					
	1	2	3	4	5	6
806.125	B11					
806.250		B21				
806.375	B12					
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250						B61
807.375			B33			
807.500				B42		
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000				B43		
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750				B46		

送信出力の設定のしかた

送信出力を5 mWにすると混信を起きにくくすることができます。
送信出力の設定は、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

- ①電池ホルダーをはずします。(9ページをごらんください。)
- ②電池ホルダー挿入部の中の送信出力切換スイッチのつまみを設定する位置に合わせます。
(電池端子を押し曲げたり、汚したりしないようご注意ください。)



- ③電池ホルダーを取り付けます。
(9ページをごらんください。)

使いかた

■感度調節ボリュームについて

- マイクの使用法・用途により入力レベルが最適になるように設定します。(工場出荷時は-70 dBです。)
- ※音声入力レベル表示が頻繁に点灯する場合は感度調節ボリュームを付属の小型ドライバーで左に回してときどき点灯するくらいを目安に設定してください。
- ※音声入力レベル表示がまったく点灯せずに「サー」という雑音が多い場合は右に回してときどき点灯するくらいを目安にしてください。

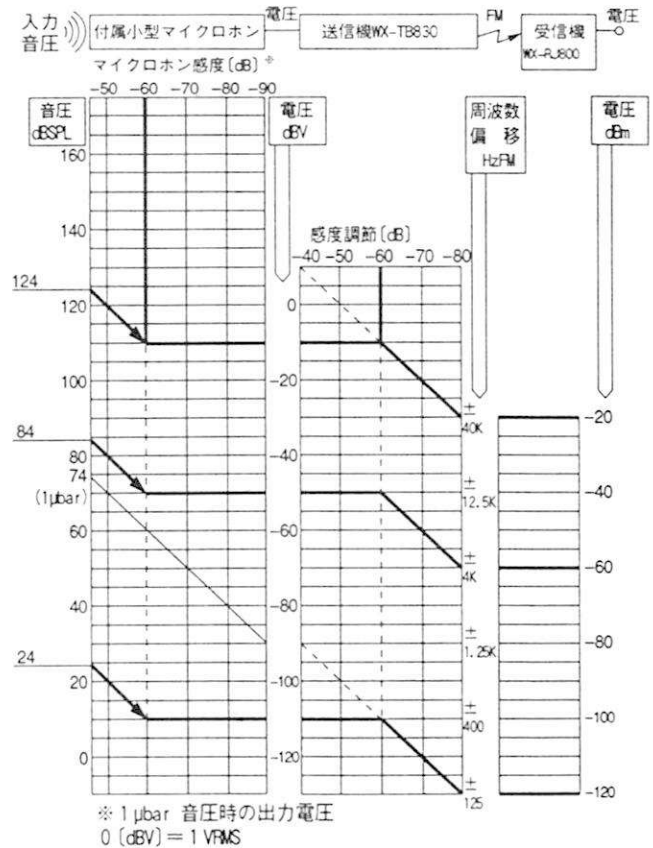
変調感度

使用マイクロホン	感度調節ボリューム
付属マイクロホン	-60 dB
一般ダイナミックマイクロホン	-75 dB
一般コンデンサマイクロホン	-52 dB

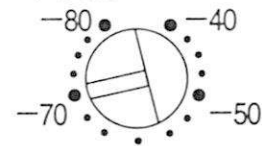
ボリュームの設定

ボリュームの溝先端部分を、設定する目盛に合わせてください。

◎レベルセットダイヤグラム◎



例：-70 dB

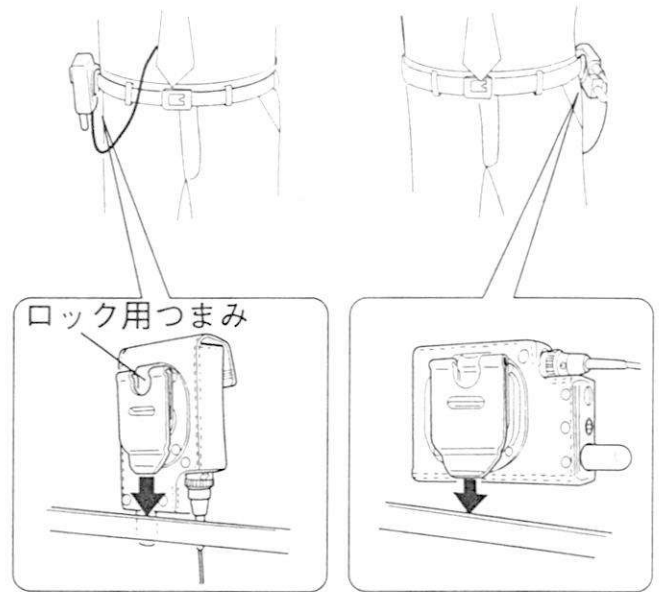


— ご注意 —

感度調節ボリュームを操作する場合は、付属の樹脂製ドライバーをご使用ください。金属製ドライバーで操作すると、操作中にノイズが発生します。

■装着について

- マイク部は、マイククリップでネクタイや襟などにとめてください。とめる位置はできるだけ口もとに近い方が、より明瞭な音質が得られます。
- ※ マイクロホンに大きな音が連続的に入ると音がひずみます。
- 本体はベルトケースに入れ、クリップでズボンのベルトに取り付けてご使用ください。
- ※ ベルトケースのつまみを押すと、クリップが回転し、90°おきにロックしますので、使いやすい方向に設定してください。

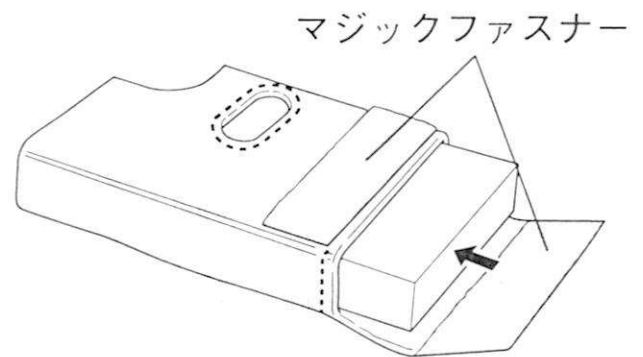


■音声出力について

- 電源スイッチONから電源表示が点灯するまで約2秒間は受信機より音声出力は出ません。電源表示が点灯してからご使用ください。

■ベルトケースの取り付けについて

- ベルトケースのマジックファスナーを開けワイヤレス送信機を挿入します。



定格・付属品

■定格

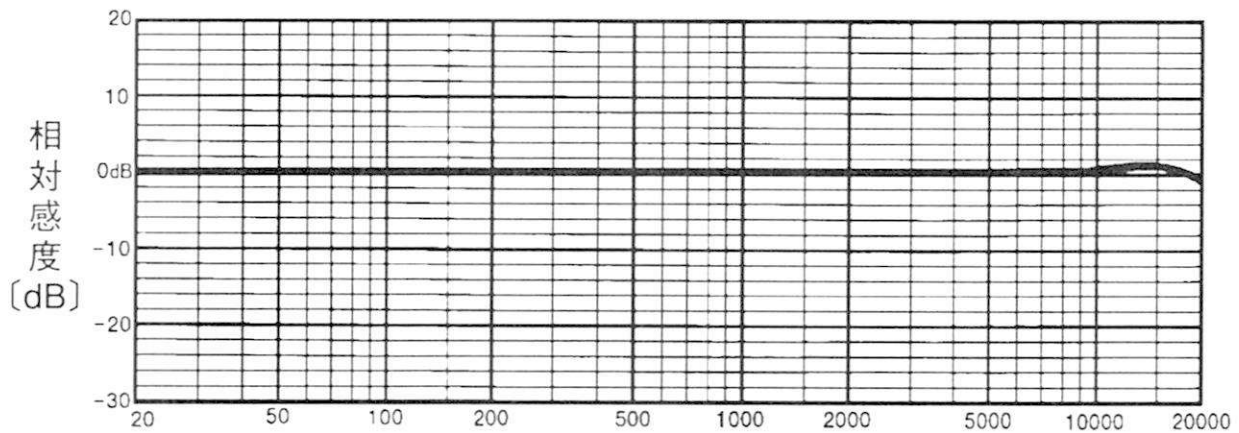
送信周波数：806.125 MHz～809.750 MHz 30波中の1波(周波数表による)
電波形式：F3E
送信周波数偏差：±20×10⁻⁶以内 (25±15℃)
占有周波数帯域幅：110 kHz以下
消費電流：115 mA
使用電池：単三乾電池 アルカリ LR6 (G) 1.5 V×2
電池寿命：(常温連続使用にて) 約14時間 アルカリ LR6 (G)
電源表示：電源電圧 約2.1 V以下で赤色点灯
空中線電力：10 mW / 5 mW 切換可能
発振方式：水晶制御 PLL シンセサイザ方式
変調方式：リアクタンス変調方式
アンテナ形式：1 / 4 λヘリカルアンテナ
到達距離：受信機 WX-RJ800にて見通し約90 m (屋外10 mW時)
最大変調感度：+10 dBV (±40 kHz FM、「LEVEL」 -40 dB時)
最大周波数偏移：±40 kHz FM以下
基準変調感度：-60 dBV (±4 kHz FM、「LEVEL」 -70 dB時)
基準周波数偏移：±5 kHz (-56 dBV入力、「LEVEL」 -70 dB時)
信号対雑音比：60 dB以上 (Aカーブ、±4 kHz FM、「LEVEL」 -70 dB時)
ダイナミックレンジ：100 dB以上 (Aカーブ、±40 kHz FM、「LEVEL」 -70 dB時)
プリエンファシス：50 μsec
呼出名称信号：2値FSK変調
トーン信号：32.927 kHz 周波数偏移±1.6 kHz
音声信号処理：2：1デシリニア圧縮
周波数特性：40 Hz～15 kHz
ひずみ率：1.0%以下 (±12.5 kHz FM)
入力インピーダンス：約3 kΩ、不平衡
入力コネクタ：KMC-9BPD-4S (ヒロセ製 4ピン)
音声入力レベル表示：最大変調入力から-8 dB以内で点灯
周囲温度：0℃～+40℃
寸法：64 (幅) ×90 (高さ) ×18 (奥行) mm
質量 (重量)：約160 g (電池含む)
仕上げ：ニッケル梨地色艶消塗装
〔付属小型マイクロホン〕
方式：バックエレクトレット・コンデンサ型
指向性：無指向性
マイクロホン感度：-40 dBV ±3 dB (0 dB=1 V / Pa)
最大入力音圧：130 dB SPL
外形：マイク部φ6×12 (mm)、ケーブル長約1.5 m

■付属品

ラベリアマイクロホン (WM-LA03)	1
ネクタイピン型マイククリップA (よこ形)	1
ネクタイピン型マイククリップB (たて形)	1
ウインドスクリーン (金網)	1
ウインドスクリーン (ウレタン)	1
ベルトケース	1
小型ドライバー	1
電池ホルダー (うち1個は本体に取付済み)	2
外部マイク用変換ケーブル (XLR-3-11C ↔ KMC-9BPD-4P)	1
ソフトケース	1

周波数特性

WM-LA03 小型マイクロホン特性



保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

・修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

■保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日	品番 WX-TB830
販 売 店 名	電話 ()	—

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)